

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	広島県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 広島理容美容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門課程	理容科	夜・通信	1,860 時間	160 時間	
	美容科	夜・通信	1,860 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ内にて公開 http://www.ken-ribi.ac.jp

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 該当なし
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	広島県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 広島理容美容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページ内にて公開 <http://www.ken-ribi.ac.jp>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	理容院経営	平成 30. 4. 2～ 令和 3. 4. 1	本校運営に対する 指導・助言、監督
非常勤	美容院経営	平成 30. 4. 2～ 令和 3. 4. 1	本校運営に対する 指導・助言、監督
(備考) 他、学外者である非常勤の理事 7 名 (任期：平成 30. 4. 2～令和 3. 4. 1)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	広島県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 広島理容美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>厚生労働省から示されている理容師養成施設、美容師養成施設に必要な教育課程の基準の運用に基づいて教育課程を編成している。さらに、現場で活躍する理容師、美容師を養成できるよう、厚生労働省指定の必修科目以外に幅広い選択科目を導入し、特色ある授業内容を構築し授業を計画している。</p> <p>単位認定は筆記試験、実技試験に加え授業担当者による課題等により総合的に判断し認定している。また、すべての課目における評価項目は、年度初めにシラバスで周知し、評価項目の配分を示している。</p> <p>シラバスの作成の手順及び日程は次のとおりである。</p> <p>① 主任会議で今年度のシラバスの確認・評価を行う。(12月～1月)</p> <p>② 主任会議で教科担当者を決定し、教科担当者にシラバスの原稿を依頼する。(1月)</p> <p>③ 教科担当者よりシラバスの原稿提出、主任会議で原稿確認(2月)</p> <p>④ 校長、教頭、教務主任が最終確認し決定する。(3月)</p> <p>⑤ 入学式、始業式に公表(学生・保護者に配付、ホームページで公表)(4月)</p>	
授業計画書の公表方法	本校ホームページ内にて公開 http://www.ken-ribi.ac.jp
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果について、学則及びシラバスに示した単位認定の方法により厳格かつ適正に評価し履修を認定している。</p> <p>具体的な単位認定の方法は、筆記試験・実技試験が共に100点満点中60点以上であること、提出物・授業態度などを総合的に判断し認定している。</p> <p>評価は、5段階(S100～90、A89～80、B79～70、C69～60、F59以下)で実施しており、SからCを単位認定する。</p> <p>また、単位認定の条件として、全課目においてすべての授業を履修することを基本としている。欠席の場合は補講(年間上限101時数を設定)を受講し、不足分の授業時数を充足できる体制を整備している。補講で授業時数が補えない場合は単位の認定を行わない。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)	
<p>成績評価における客観的な指標について、本校はG P Aを採用し適切に実施している。</p>	
<p>1 GPA (グレード・ポイント・アベレージ) の取り扱いについて 本校は成績の分布状況を把握するために GPA を採用しており、GPA により算出された成績を以て、最終的な成績順位や卒業の認定を確定する。</p>	
<p>2 GPA による成績評価方法について 成績の評価は 5 段階とし、GPA 評価点の小数点以下を四捨五入し、4.0 を S、3.0 を A、2.0 を B、1.0 を C、0 を F として評定する。</p>	
<p>3 GPA の利用範囲について GPA により算出された成績や順位等は、科目単位認定や卒業認定のほか、特待生選定や奨学生に対する報告成績、また成績証明書の発行などに利用している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	本校ホームページ内にて公開 http://www.ken-ribi.ac.jp
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)	
<p>卒業の認定方針等について、学則並びに学則細則に定め公表し適切に実施している。卒業の認定は、すべての課目の単位が認定されていること (1 年次 37 単位、2 年次 38 単位、合計 75 単位)、及び卒業認定筆記試験に合格した者について卒業認定委員会の審議に基づき校長が行っている。</p> <p>次の要件をすべて満たしていない場合は卒業延期となる。</p>	
<p>(1) 単位認定について</p> <p>① 授業時数の履修について 全科目において、すべての授業時数を受講していること。 (1 年次 1,110 時数、2 年次 1,140 時数、合計 2,250 時数)、</p> <p>② 筆記試験・実技試験について 筆記試験・実技試験共に 100 点満点とし、60 点以上を及第とする。</p>	
<p>(2) 卒業認定筆記試験について 卒業認定筆記試験は国家試験に準じて実施している。(試験問題 55 問中 60%以上の正答率であること。関係法規・制度、公衆衛生・環境衛生、感染症、衛生管理技術、人体の構造及び機能、皮膚科学、化粧品化学、理容美容技術理論、文化論、運営管理のいずれの課目においても無得点がないこと。)</p>	
<p>(3) 卒業認定・専門士授与の方針 (ディプロマ・ポリシー) 本校では以下のような能力を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生は卒業が認定され専門士の称号が授与される。</p> <p>① 理容科は、カット、ヘアセッティング、シャンプー、シェービングなどの理容師として必要な知識及び技能を習得し、理容師免許の取得を目指すと共に社会人としての教養と近代的な感覚を身につける。</p> <p>② 美容科は、ヘアデザイン、メイク、ネイルなどの美容師として必要な知識及び技能を習得し、美容師免許の取得を目指すと共に社会人としての教養と近代的な感覚を身につける。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	本校ホームページ内にて公開 http://www.ken-ribi.ac.jp

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	広島県理容美容専門学校
設置者名	学校法人 広島理容美容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校ホームページ内にて公開 http://www.ken-ribi.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	本校ホームページ内にて公開 http://www.ken-ribi.ac.jp
財産目録	本校ホームページ内にて公開 http://www.ken-ribi.ac.jp
事業報告書	本校ホームページ内にて公開 http://www.ken-ribi.ac.jp
監事による監査報告（書）	本校ホームページ内にて公開 http://www.ken-ribi.ac.jp

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	理容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2, 250 単位時間/単位	630 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1,350 単位時間 /単位
			2, 250 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		19人	0人	3人	9人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程及び年間の授業計画（シラバス）はホームページに掲載し周知している。 ・教育課程は2年間で必修科目(1,650時数)55単位、選択科目（600時数）20単位、合計(2,250時数)75単位で実施している。 ・職場体験学習……理容所で実務実習を実施している。
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績評価は、筆記試験・実技試験が共に100点満点中60点以上であること、提出物・授業態度などを総合的に判断し評価している。 ・評価は、5段階（S100～90、A89～80、B79～70、C69～60、F59以下）で実施しており、SからCを単位認定する。 ・また、全課目において全ての授業時数を履修することを基本としている。欠席の場合は補講（年間上限101時数を設定）を受講し、不足分の授業時数を充足できる体制を整備している。補講で授業時数が補えない場合は不合格となる。

卒業・進級の認定基準	
<p>(概要) 学則及び学則細則により認定基準を示し周知している。</p> <p>1 進級について 1 年次の授業時数 1,110 時数をすべて受講していること、履修課目 37 単位の認定を受けていること、この要件をすべて満たしていない場合は仮進級となる。</p> <p>2 卒業について 卒業の認定は、すべての課目の単位が認定されていること (1 年次 37 単位、2 年次 38 単位、合計 75 単位)、及び卒業認定筆記試験に合格した者について卒業認定委員会の審議に基づき校長が行っている。次の要件をすべて満たしていない場合は卒業延期となる。</p> <p>(1) 単位認定について</p> <p>① 授業時数の履修について 全課目において、すべての授業時数を受講していること。(1 年次 1,110 時数、2 年次 1,140 時数、合計 2,250 時数)</p> <p>② 筆記試験・実技試験について 筆記試験・実技試験共に 100 点満点とし、60 点以上を及第とする。</p> <p>(2) 卒業認定筆記試験について 卒業認定筆記試験は国家試験に準じて実施している。(試験問題 55 問中 60%以上の正答率であること。関係法規・制度、公衆衛生・環境衛生、感染症、衛生管理技術、人体の構造及び機能、皮膚科学、化粧品化学、理容美容技術理論、文化論、運営管理のいずれの課目においても無得点がないこと。)</p>	
学修支援等	
<p>(概要) 募集要項及び学則細則により制度の基準を示し周知している。</p> <p>1 入学支援制度 (成績優秀者に入学金全額免除)</p> <p>2 特待生制度 (1 年次の成績優秀者に 2 年次の授業料一部支援)</p> <p>3 コンテスト支援制度 (教材費支援)</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7 人 (100%)	0 人 (0%)	7 人 (100.0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 理容業			
(就職指導内容) 就職担当職員と担任が連携しながら、学生一人一人の就職や進路等について、個別相談やカウンセリングを実施し指導している。 就職担当職員は、業界と連携・協力し就職に係る情報の集約や提供を行うと共に、実務実習についても担任と連携し計画的に進めている。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 理容師国家資格、パーソナル検定 3 級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19 人	1 人	5.3%

(中途退学の主な理由) 進路変更等による。
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学当初に遠足やスポーツ大会等を実施し、クラスや学年団の連帯感を高め、より良い人間関係が構築できるよう計画的に行事や集団づくり等を実施している。 総務部と担任が連携し生活面や健康面等について学生指導を行うとともに、学生一人一人の授業の履修状況、単位認定の状況等をもとに学生と個人面談を実施している。 また、保護者と連携を密に図り、家庭と学校が協力し教育活動を進めている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2, 250 単位時間/単位	630 単位時間 /単位	240 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	1,350 単位時間 /単位
			2, 250 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		121人	0人	8人	8人	16人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) ・教育課程及び年間の授業計画 (シラバス) はホームページに掲載し周知している。 ・教育課程は2年間で必修科目(1,650時数)55単位、選択科目(600時数)20単位、合計(2,250時数)75単位で実施している。 ・職場体験学習……美容所で実務実習を実施している。
成績評価の基準・方法
(概要) ・成績評価は、筆記試験・実技試験が共に100点満点中60点以上であること、提出物・授業態度などを総合的に判断し評価している。 ・評価は、5段階(S100~90、A89~80、B79~70、C69~60、F59以下)で実施しており、SからCを単位認定する。 ・また、全課目において全ての授業時数を履修することを基本としている。欠席の場合は補講(年間上限101時数を設定)を受講し、不足分の授業時数を充足できる体制を整備している。補講で授業時数が補えない場合は不合格となる。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則及び学則細則により認定基準を示し周知している。
1 進級について 1年次の授業時数1,110時数をすべて受講していること、履修課目37単位の認定を受けていること、この要件をすべて満たしていない場合は仮進級となる。
2 卒業について 卒業の認定は、すべての課目の単位が認定されていること(1年次37単位、2年次38単位、合計75単位)、及び卒業認定筆記試験に合格した者について卒業認定委員会の審議に基づき校長が行っている。次の要件をすべて満たしていない場合は卒業延期となる。
(1) 単位認定について
② 授業時数の履修について 全課目において、すべての授業時数を受講していること。(1年次1,110時数、

<p>2年次 1,140 時数、合計 2,250 時数)</p> <p>② 筆記試験・実技試験について 筆記試験・実技試験共に 100 点満点とし、60 点以上を及第とする。</p> <p>(2) 卒業認定筆記試験について 卒業認定筆記試験は国家試験に準じて実施している。(試験問題 55 問中 60%以上の正答率であること。関係法規・制度、公衆衛生・環境衛生、感染症、衛生管理技術、人体の構造及び機能、皮膚科学、化粧品化学、理容美容技術理論、文化論、運営管理のいずれの課目においても無得点がないこと。)</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>募集要項及び学則細則により制度の基準を示し周知している。</p> <p>1 入学支援制度 (成績優秀者に入学金全額免除)</p> <p>2 特待生制度 (1年次の成績優秀者に2年次の授業料一部支援)</p> <p>3 コンテスト支援制度 (教材費支援)</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
62人 (100%)	0人 (0%)	60人 (96.8%)	2人 (3.2%)
(主な就職、業界等) 美容業			
(就職指導内容) 就職担当職員と担任が連携しながら、学生一人一人の就職や進路等について、個別相談やカウンセリングを実施し指導している。 就職担当職員は、業界と連携・協力し就職に係る情報の集約や提供を行うと共に、実務実習についても担任と連携し計画的に進めている。また、学生が多くの職場を知る機会として、毎年サロン説明会を開催している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 美容師国家資格、パーソナル検定2級、3級、ネイリスト協会技能検定3級、ABE まつ毛エクステンションアシスタント認定証			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
121人	3人	2.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更、通信課程への編入等による。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学当初に遠足やスポーツ大会等を実施し、クラスや学年団の連帯感を高め、より良い人間関係が構築できるよう計画的に行事や集団づくり等を実施している。 総務部と担任が連携し生活面や健康面等について学生指導を行うとともに、学生一人一人の授業の履修状況、単位認定の状況等をもとに学生と個人面談を実施している。 また、保護者と連携を密に図り、家庭と学校が協力し教育活動を進めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
理容科	80,000 円	520,000 円	612,000 円	その他に設備費、教材費、学年費
美容科	80,000 円	520,000 円	652,000 円	その他に設備費、教材費、学年費
修学支援 (任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学支援制度 ・ 特待生制度 ・ 一人暮らしサポート (遠隔地支援制度) ・ 親族減免制度 ・ 受験料免除 (オープンキャンパス参加特典) ・ コンテスト支援制度 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 本校ホームページ内にて公開												
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校ホームページ内にて公開 http://www.ken-ribi.ac.jp												
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)												
今年度より学校関係者評価の基本方針を次のように定め、実施する。												
<p>1 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学則第 31 条第 1 項に基づき、本校の教育目標、計画に沿った取組の達成状況、学校運営等の状況に関する自己評価を行い、教育活動や学校運営等の課題について継続的に改善を図るとともに、評価結果を公表する。 ・ 同 31 条第 2 項に規程に基づき、自己評価結果を踏まえ学校関係者評価を実施する。当該委員会の委員による助言、意見等の評価結果を教育活動や学校運営等の改善に活用する。評価結果と改善の取組を学校ホームページに掲載し広く社会へ公表する。 <p>2 自己評価及び学校関係者評価の実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員が、本校の教育目標や教育活動、学校運営等について、1 月末までに自己評価を行う。 ・ 学校関係者委員会を 2 月末までに開催し、学校が実施した自己評価結果を学校関係者評価委員が評価する。 <p>3 学校関係者評価委員会による学校評価の「評価項目」について</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">I 教育理念・目的・人材育成像</td> <td style="width: 33%;">II 学校運営</td> <td style="width: 33%;">III 教育活動</td> </tr> <tr> <td>IV 学修成果</td> <td>V 学生支援</td> <td>VI 教育環境</td> </tr> <tr> <td>VII 学生の受入れ募集</td> <td>VIII 財務</td> <td>IX 法令等の順守</td> </tr> <tr> <td>X 社会貢献・地域貢献</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>4 学校関係者評価委員会の組織について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広島県理容美容専門学校 学校関係者評価委員会を組織する。 ・ 学校関係者評価委員の定数は 5 名とする。 ・ 学校関係者評価委員の選出区分は、関連業界等関係者、卒業生、教育に関し知見を有する者とする。 ・ 委員会の構成は、別紙「広島県理容美容専門学校 学校関係者評価委員会」名簿による。 <p>5 学校関係者評価結果の公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校関係者評価は年度末の 3 月末までに学校ホームページで公表する。 	I 教育理念・目的・人材育成像	II 学校運営	III 教育活動	IV 学修成果	V 学生支援	VI 教育環境	VII 学生の受入れ募集	VIII 財務	IX 法令等の順守	X 社会貢献・地域貢献		
I 教育理念・目的・人材育成像	II 学校運営	III 教育活動										
IV 学修成果	V 学生支援	VI 教育環境										
VII 学生の受入れ募集	VIII 財務	IX 法令等の順守										
X 社会貢献・地域貢献												

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
美容院経営	令和元. 9. 9～令和 3. 3. 31	関連業界等関係者
美容院経営	令和元. 9. 9～令和 3. 3. 31	関連業界等関係者
美容院経営	令和元. 9. 9～令和 3. 3. 31	卒業生
美容院経営	令和元. 9. 9～令和 3. 3. 31	卒業生
大学講師	令和元. 9. 9～令和 3. 3. 31	教育に関し知見を有する者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から、結果を確実に公表する。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 本校ホームページ内にて公開 http://www.ken-ribi.ac.jp
--